

今から20年以上も前ですが、産休が明けて仕事に復帰することになり、保育園探しをしていました。そんな中で、子どもの個性やペースを大事にしてくれる保育方針とその温かさが気に入って、「この園に入園させたい」そう思ったのが「なごみ保育園」でした。



それから、合わせて10年間、我が家の子どもたちは「なごみ」に通わせていただきました。

親子共々、泣いたり笑ったり、先生方にお世話になり、振り返ると、とても貴重な子育ての時間を「なごみ」で過ごしてきたのだな、と

改めて感謝の気持ちでいっぱいになります。

そして、我が子の卒園から10年以上の時を経て、縁あって「なごみ」でお仕事ができることとなり、とても嬉しく思いました。これもその時からずっとここで長く働いている先生方がいらしたからこそのご縁だと感謝しています。

我が子が卒園した年の文集「なごみ号」を読み返すと『我が子は、なごみで頑張ることの大切さを知った』と書いていました。今度は私が「なごみ」の一員として頑張っていきたいし、成長していけたらと思っています。

梅丘なごみ保育園 園部美和子



▲園部美和子職員

2022 Aug. 日

社会福祉法人なごみ福祉会

# なごみだより

なごみ福祉会のコミュニティマガジン no.30

「なごみ福祉」で検索 [www.nagomi-fukushikai.jp](http://www.nagomi-fukushikai.jp)

発行：社会福祉法人なごみ福祉会 なごみだより編集委員会  
川崎市多摩区菅稻田堤3-9-2 TEL 044-944-2022

editor

なごみだより編集委員会 ◆編集委員長 / 渡邊 (■地域療育事業部)  
■保育部 / 山梨 ■せせらぎ事業部 / 千頭 ■夢花事業部 / 進藤  
■ここから事業部 / 板橋 ■デザインアドバイザー / 寺内



▲いらっしゃい！美味しい焼きそば、チョコバナナ。みんなで作ったよ！太子堂なごみ保育園の子どもたち

**けいじばん**

■夢花事業部より  
9月に予定していました夢花感謝祭はコロナ感染の拡大に伴い、残念ながら中止と致します。

■せせらぎ事業部より  
・多摩川あゆ工房の表玄関自動ドアをオートロックにしています。「多摩川あゆ工房」「療育相談でんどん虫」に来所する際は、表玄関左横のインターホンを押して下さい。  
・今年度のあゆまつりは、コロナの状況を鑑み、内部向けの行事とさせていただきます。

■なごみ福祉会第4回実践報告会のお知らせ  
テーマ「法人理念に基づいた保育と支援の実践」  
日程：令和5年1月21日（土）開催方法：オンラインにて  
「法人他事業部の実践を知り自らの仕事に役立てる」  
「職員同士の横のつながりをもつ」ことをねらいとし実行委員会にて内容を検討しています。時間等詳細が決まりましたら随時お知らせいたします。

はなえみ  
**花笑の会から皆様へお願い**

社会福祉法人なごみ福祉会後援会 『花笑の会』会長 志岐チエ子

6月に入梅と梅雨明けがあるという、今年の異常気候に驚かされ、余りの暑さにうらたえたる日々です。皆様、いかがお過ごしでしょうか？どうか熱中症になりませんように、水分補給等、十分お気をつけてお過ごしください。コロナもまた増えてきて、インフルエンザにも注意が必要といわれています。

こんな時ですが、「花笑の会」は出来ることをやり続けたいと思います。会員の募集に関しましては、最初に入会いただくときは、郵便局の振り替えでお願いいたします。次回から（更新）の時は川崎信用金庫にネットでも振り込み出来ます。どうぞ会員の募集と一緒に会の運営に参加してください。いつも「花笑の会」に対しましてのご支援、ご協力に感謝しつつ、この暑い夏を乗り越えていただきますように祈念しています。 花笑バザー会場の様子 ▶



令和3年9月～令和4年6月  
寄附金報告書

ありがとうございます！  
大和証券株式会社様とのスナップ

寄附金者氏名	金額	受取事業部
川崎生田ライオンズクラブ 様	100,000	地域療育
タイコエレクトロニクスジャパン合同会社 代表取締役社長 松井 啓 様	400,000	せせらぎ
高橋 玲子 様 *	2,000,000	せせらぎ
花笑の会 会長 志岐 チエ子 様	800,000	法人本部
大和証券株式会社 様	200,000	法人本部

\*多摩区の高橋様よりグループホーム物件の提供があり、改装及び準備費用の一部として200万円のご寄付をいただきました。

花笑の会 会費

【年会費】  
個人：1口 2,000円 団体：1口 5,000円  
会費は一年更新。入会・退会は自由です。  
口数に上限はありません

会費振り込み先

【銀行ご利用の場合】  
川崎信用金庫 長沢支店  
(普) 0185019 花笑の会会長志岐チエ子  
【郵便局ご利用の場合】  
同封の振込用紙をお使い頂くか  
下記の振替口座までご入金下さい  
振替番号 00220-7-71044  
加入者名 花笑の会

花笑の会へのご連絡は、なごみ福祉会法人本部までお願いします

コロナ禍でも基本にすべきこと

理事長 飯島 克巳

新役員をご紹介します

未だ終息の先が見えないコロナ禍ですが、今年も法人各事業所においても厳しい感染状況に置かれました。その中でも業務遂行に尽力されている職員の皆さんに心より感謝いたします。またこの状況下での事業所運営に、ご利用者、ご家族にはご心配をおかけしています。日頃よりご理解とご協力をいただき、謝意と感謝を申し上げます。



さて、6月26日、法人の各活動と決算を承認する評議員会が開催されました。この評議員会では昨年評議員に選任された鈴木敏彦氏（和泉短期大学教授）が初出席されました。そして、この日で任期を終える大塚枝美子理事（太子堂なごみ保育園園長）の再任が承認されました。また、長きに渡り法人の監事役だった坂本翔子氏と加藤譲氏が身体上の理由で退任され、新たに望月隆之氏（田園調布学園大学専任講師）と青木重典氏（青木重典公認会計士事務所代表）の監事就任が承認されました。

表情が見えにくい中でも注意したいこと

コロナの対応に追われると淡々と流れていた生活がとても懐かしく、早くその生活に戻れることを願います。しかし、元々、私たち法人の活動が必要とされたのはその元の生活から始まっていることも忘れてはならないでしょう。かつて私が障害福祉で仕事を始めた頃、当時の先輩から、「親と言えども我が子に手をかけることがあることを常に頭におくように」と忠告をもらいました。1960年代横浜市内で起きた事件では社会から減刑運動が起き、他方では当事者団体が自分たちは死んでも仕方ない存在なのかと反発し、大きな論争が起きました。昔のこのようですが、実際にはその後も繰り返

されています。「負担が大きいところで起きる」とその先輩が続けて語ったことです。親や家族にこのようなことがないよう支援者は努力していますが、他方では身近に起きてしまうこともその後経験しました。困っている本人がいらないか気にかけることは勿論ですが、困っている家族、困っているのに気丈にしている家族がいらないか気にかけてほしいと思います。マスクで一人一人の表情が見えづらくなり、関係が疎遠になっているので余計注意したいと思います。

地域社会での福祉現場の役割

普段仕事をしている現場からは、「小学校に入るまでには大人しく座っていられるようになってほしい」「学校ではお友達と会話ができるようになってほしい」というお母さん達の切実な声が聞こえてきます。職員は丁寧に話を聞いています。私はこの声を聞きながら、「小学校に入るまで…」は、私がかつて川崎市の地域訓練会で療育に通うお母さんから聞いたときには「保育園に入れてもらうためには…」だったなと思い出しました。保育園入園前にあったハードルは40年後小学校入学まで後ろに下がっていたのです。楽観的な結論かも知れませんが、法人保育園の先駆的実践を始めとした全国の障害児保育の広がりが障害のある子どもの親御さんの不安を後ろに押し下げたのではないのでしょうか。

そうだとしたら、大事なのは障害を治したり、能力を伸ばすこと（だけ）ではなく、保育園がそうであったように、学校が企業が地域が受け止め受け入れることです。福祉現場が優しくなっただけでは地域社会は変わりません。福祉現場にいる私たちや支援学校は優しい地域社会作りのための支援にさらに努めるべきだと思います。

コロナ禍大変ですが、皆で頑張ってください。



▲そーれ、ぎっちらこ！ここからでの療育の1コマ

保育部

栄養士研修「坐禅と季節のおかゆ」

保育部では、6園の職員が横のつながりを深めながら学び合っています。6月8日の栄養士会では「季節のおかゆを五感で味わい、今後の調理や食育に活かす」をねらいに、川崎市多摩区にある福昌寺の飯沼康祐副住職による研修会を行いました。

坐禅は参加者のほとんどが初めての経験。姿勢、呼吸を調べてから始めます。呼吸に合わせて数を数えながら自分と向き合い心を調えます。忙しい日常では、座ることにこだわらず、「通勤電車の一駅分」など自分で決めて取り入れられるそうです。坐禅の後は、おかゆの湯炊きを見せて頂きました。約15分、混ぜるのは2回だけで、さらりとしながら米粒がふっくらつ

ややかなおかゆが出来上がりました。出来立てのおかゆは今まで食べたことのない美味しさ。添えられたきのこのあんかけ、薬味は出汁と素材の味がとても美味しく、また素材を使い切る副住職の丁寧な思いが伝わってきました。おかゆの十の功德や洗鉢の作法も教えて頂きました。

研修の翌日は「美味しかったね」から始まり、「出汁が昆布を献立に取り入れてみよう」「精進料理の日を作ってみようか」と刺激とやる気をたくさん頂いた研修になりました。なごみ保育園は食育に力を入れ、食材にもこだわっています。研修の学びから、給食がまた一段と美味しくなりそうです。

山梨



▲姿勢、呼吸を整えて自分と向き合います

地域療育事業部

第28回ポプラの音楽会を開催しました♪

6/11(土)、ポプラの音楽会を開催しました。

第26回、第27回はそれぞれが療育の時間内に撮影した映像を集めたDVD発表会だったため、有観客での開催は3年3ヶ月振りとなりました。これまでとは形を変えて、Ⅲ部構成にしてその都度来場者を入れ替え、消毒と換気を行うなど出来る限りの感染対策を行っての開催でした。

夢花工房デイリーのみなさんが作って下さった素敵な看板や、でんでん虫のYYプロジェクトのメンバーが作ってくれた花飾りに彩りを添えてもらった会場には、久しぶりの出演を楽しみにしていた方、今回がドキドキの初出演の方、それぞれが期待感や緊張感を持って集まり、11組35名が演奏しました。演目は、ピアノ演奏・合奏・歌・和太鼓・ダンスと、それぞれの出演者の持ち味が活きるバラエティーに富んだも

のでした。お客さんの前に立ち、普段とは少し違う真剣で緊張した表情を見せてくれた方、いつも通りの笑顔で演奏した方、はじめてスタッフを驚かせた方、一人一人が今の自分を精一杯表現してくれました。出演者のその姿に、会場には笑顔や涙が溢れ、頑張りや成長に暖かい拍手を送り合うとても素敵な音楽会になりました。今日この場での出来事が、皆さんの心に勇気や自信となって残り、日々の生活の糧になるといいなと思います。

小田嶋



▲第28回ポプラの音楽会を開催しました♪

のお二人の活躍で、50セット準備したものは完売し、こちらにも成功に終わることが出来ました。

ホールでの発表以外の時間では自由行動班で各々散策し、様々な出店を見て回ったり大ホールで行われた他団体の発表を見たりと、ふれあい祭りにふさわしい交流の時間も設けることが出来ました。最後には毎年恒例の抽選会にも参加しあゆ工房の利用者にも当選した方がおり、最初から最後まで笑顔あふれる時間となりました。

森田

▶ (上) ようやく踊れた「パプリカ」 (下) 販売も盛況でした！



夢花事業部

多摩区の民生委員・児童委員協議会研修会で講演しました



▲当日の会場風景(左)と講演中の川端職員(右端)

令和4年6月21日、多摩区の民生委員児童委員協議会の研修が多摩区市民館2階大ホールで開催され「グループホームで暮らす方々の生活」をテーマに事例発表させていただきました。今回の開催目的には、民生委員児童委員と障害福祉がお互いの活動や協働への理解を深め、地域で支援できることを考える機会としたいとのことでした。

ここから事業部

保護者会開催しました

6月4日(土)、児童デイサービスここからでは、今年度第1回保護者会を行いました。最初に、児童デイサービス全体として、職員紹介、第三者評価結果や苦情受付窓口、ブログ、コロナの感染対策やその他の感染症についての確認事項の連絡を行いました。次に、児童発達支援と放課後等デイサービスの各部署から、実施状況や変更内容・注意事項などを報告して、普段の活動の様子を写真や動画で見ていただきました。その後、卒業生とその保護者に登壇いただき談話会を行いました。

「小さい時は、この子にとって何が必要かを考えながら自分から情報発信をしてきました。今は特性に合わせた療育を受けられるのが素晴らしいと思います。学校で他の子ども達と

このような貴重な意見交換会の場で発表機会をいただき「障がい者の地域の暮らし」について、より深めることに繋がりが勉強になりました。ありがとうございました。川端

たまがわマルシェに出店しました！

5月3日(祝)お天気に恵まれ、多摩川河川敷ではにぎやかに「登戸たまがわマルシェ」が行われ、私たち夢花工房も自主製品を販売しました。多摩区役所での販売会「パサージュたま」に参加しているご縁で、マルシェの主催者SDC(多摩区ソーシャルデザインセンター)さんから誘っていただいたのです。子ども向けイベントやステージ発表あり、そして飲食の露店やキッチンカーが多数来ており、参加された4名の利用者さんも普段は食べられない外でのお食事をおいしい！と喜ばれていました。安藤



▲多くのお客様がいらした夢花ブース

一緒に過ごせたことで、私もいい体験をさせてもらったし、助けてもらいながらやってこられました。この子なりの成長を感じています。今後もいいところを伸ばしてあげたいし、楽しいことをしてあげたいと思っています。」という心に響くお話でした。談話会では、いろいろな質疑応答があり、保護者の思いを共有することができたと思います。今回初めて、ZOOMと対面を選べるハイブリット方式の保護者会としました。その結果、多く保護者が参加してくれたのでとてもよかったです。これからも職員や保護者の有意義な交流の場にしたいと考えています。

ブログの方も更新していくので、見ていただければ嬉しいです。小倉



▶ ハイブリットの保護者会(左) 登壇頂いた八木橋さん親子(右)

せせらぎ事業部

ふれあいまつりに参加しました！

6/19(日)の多摩ふれあいまつりは、昨年に比べ参加団体も増え、コロナ禍前の活気ある風景が感じられる催しとなりました。大ホールにて、毎年恒例のダンスを披露しました。今回は一昨年のダンス披露で行う予定でしたがコロナの影響で中止になってしまい今年こそはと挑んだ『パプリカ』、鳴子を鳴らしながら踊る『E-ジャンダンス』の2曲を行いました。職員は1ヶ月前から、利用者は2週間前から練習に励み、今年は満を持して披露し無事成功を遂げることが出来ました。また出店コーナーにおいては毎年恒例の焼き菓子販売と、今年初の試みであるうちわ製作を行いました。白紙のうちわに絵を描いたりシールでデコレーションをしたり、また父の日の贈り物として製作される方等、たくさんの方が楽しんでくださいました。焼き菓子販売も、今回出店担当だったレゼル

のお二人の活躍で、50セット準備したものは完売し、こちらにも成功に終わることが出来ました。

森田

▶ (上) ようやく踊れた「パプリカ」 (下) 販売も盛況でした！



なごみ福祉会  
つながり事業紹介

療育相談でんでん虫ではコロナの感染拡大のため開催を休止していたポプラの音楽会を3年3か月ぶりに無事に行うことが出来ました。久しぶりのポプラの音楽会を楽しみにして準備してきたでんでん虫を応援しようと夢花工房デイリーの皆さんが当日の会場を飾るプレートを作成してくれました。発表する出演者の後方から色とりどりのプレートがとてもはっきりと！そして綺麗に「第28回ポプラの音楽会♪」とみんなの演奏を応援してくれているようでした。

きたでんでん虫を応援しようと夢花工房デイリーの皆さんが当日の会場を飾るプレートを作成してくれました。発表する出演者の後方から色とりどりのプレートがとてもはっきりと！そして綺麗に「第28回ポプラの音楽会♪」とみんなの演奏を応援してくれているようでした。

きたでんでん虫を応援しようと夢花工房デイリーの皆さんが当日の会場を飾るプレートを作成してくれました。発表する出演者の後方から色とりどりのプレートがとてもはっきりと！そして綺麗に「第28回ポプラの音楽会♪」とみんなの演奏を応援してくれているようでした。

きたでんでん虫を応援しようと夢花工房デイリーの皆さんが当日の会場を飾るプレートを作成してくれました。発表する出演者の後方から色とりどりのプレートがとてもはっきりと！そして綺麗に「第28回ポプラの音楽会♪」とみんなの演奏を応援してくれているようでした。



した。とても丁寧に色を塗ってくださったようで、「ここ塗ったの私」「ここおれ」と作成を担当したプレートを見せてにやりと笑う方。「こんなにきれいいにはみ出さず、大変じゃなかった?」「ううん平気」。私たちが「ここにこんな風に飾りたい」とお見せすると、「いいね～カーテン黒いから」としばしば皆さんとおしゃべりしながら記念撮影もしました。

夢花の皆さんとは日頃、音楽活動も一緒に取り組んでいます。夢花の皆さんとは日頃、音楽活動も一緒に取り組んでいます。夢花の皆さんとは日頃、音楽活動も一緒に取り組んでいます。

▼夢花デイリーで制作後にみんなで記念撮影

